



令和3年度 喜多方市立豊川小学校 学校経営・運営ビジョン

【学校経営の方針】 子どもの笑顔が輝く学校、信頼される学校づくりを進めます

【教育目標】 ～健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成～

○(心も体も)つよい子 ○(自然と友達に)やさしい子 ○(真剣に)まなぶ子

【めざす児童の姿】

	(心も体も) つよい子	(自然と友達に) やさしい子	(真剣に) まなぶ子
1年	めあてをもって、 がんばる子ども	ともだちと なかよくできる子ども	よくきき、はっきりはなす子ども
2年	めあてをきめて、 がんばる子ども	だれとでも なかよくできる子ども	よく聞き、よく考える子ども
3年	めあてにむかって、 ねばり強くがんばる子ども	友だちと 助け合える子ども	めあてにむかって、 進んで学習する子ども
4年	めあてにむかって、 最後までがんばる子ども	思いやりの心を持ち、 助け合える子ども	自分でめあてを見つけ、 進んで学習する子ども
5年	めあてにむかって、 あきらめずにがんばる子ども	相手の立場を考え、 協力し合える子ども	自分でめあてを見つけ、 自分の考えを持って学習する子ども
6年	めあてにむかって、 責任をもってやりぬく子ども	お互いのよさを認め合い、 協力し合える子ども	自ら課題を見つけ、自分で考え、 進んで学習する子ども

喜多方市教育委員会の重点事項

～全ての子ども「生きる力」を育む～

重点内容1 子どもの資質・能力を育成する

- I 自己啓発力の育成
- II 学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力の育成
- III 勤労観、職業観及び職能の基礎的資質・能力の育成
- IV 共助・協働の態度及びコミュニケーション能力の育成

重点内容2 教師の指導力を高める

重点内容3 安全で楽しく学ぶことができる環境

喜多方の3つの共通実践

- ① 学力向上
- ② 自己肯定感を育む活動の充実
- ③ 地域と共に歩む学校づくりの推進

喜多方市人づくりの指針「なかよく たくましく 生きる」

- 人を思いやり敬います
- 「こんにちは」「どうぞ」「ありがとう」を言います
- 勉強に励み体を鍛えます
- 人として恥ずかしい行いをしません
- 喜多方を誇り社会に役立ちます
- 私たちはくじけない強い心を持って目標に向かってやりぬきます

めざす学校像

- 子どもにとって、学ぶ喜びや楽しさにあふれる学校
- 教師にとって、勤めてやりがいのある学校
- 保護者、地域に信頼され、ともに歩む学校
- 安全・安心な学校

めざす教師像

- 子どもに寄り添い、認め、励まし、伸ばそうとする教師
- 指導力向上を目指し、日々研修・研鑽に励む教師
- 児童・保護者・地域から信頼される教師(不祥事の絶無)

保護者の願い

- 基礎学力を確実に身に付けてほしい
- どんなことにもねばり強く取り組めるようになってほしい
- いじめのない、安心・安全な学校であってほしい

令和3年度 学校スローガン(児童の行動・活動目標)

夢をもち 協力し合う やさしさあふれる 豊かっ子

つよい子(健康や安全に気を配り、ねばり強くやり抜く子どもを育てます)

- (1) たくましい体と根気強さの育成
 - ・ 体力向上推進計画に基づく計画的・継続的指導
 - ・ 体育科の授業の充実(運動身体づくりプログラム、体育専門アドバイザー)
 - ・ めあてを持たせた指導(授業、各種行事、係活動、児童会活動等)
- (2) 正しく判断し、自ら行動できる力を育てる安全指導の推進
 - ・ 安全行事・安全教育の充実(交通教室、避難訓練、防災・放射線教育等)
 - ・ 日常的な安全指導と施設設備点検等の実施
- (3) 自律的な生活習慣の育成
 - ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化と食育指導の推進
 - ・ むし歯ゼロ・治癒率の向上、肥満率解消に向けた指導
 - ・ メディアの適正利用についての指導(オフ・スクリーン運動、情報モラル教育)

【重点指標】 ◆ めあてに向かってねばり強く取り組んでいる(A+B 95%以上)

やさしい子(相手を思いやり、互いのよさを認め合う子どもを育てます)

- (1) 自尊心、自己肯定感の育成
 - ・ 「よさ」を認め合う活動の推進(なかたくタイム)
 - ・ 心の居場所のある学級づくり(Q-Uの活用、学級力の可視化)
 - ・ いじめ、不登校の防止と早期発見・解決(組織的対応、SCやSSWの活用)
- (2) 人間性や社会性の育成
 - ・ 考え、議論し、自己の生き方について考えを深める道徳の授業の実践
 - ・ 体験活動や学校の教育活動全体を通じた道徳教育の充実
 - ・ 縦割り班活動、異学年交流活動の充実
 - ・ 「3つのあ(あいさつ・あんぜん・あとしまつ)」の徹底
- (3) 特別支援教育の充実
 - ・ 個別的教育支援計画、指導計画に基づいた支援・指導

【重点指標】 ◆ 自分にはよいところがある(A+B 85%以上)

まなぶ子(確かな学力を身に付けた子どもを育てます)

- (1) 基礎・基本の確実な定着と活用力の育成
 - ・ 「わかる」「できる」喜びを実感できる授業づくり(「授業スタンダード」の活用)
 - ・ 自分の思いや考えを表現し交流する言語活動の充実
 - ・ 個に応じた指導の充実(個別指導、TT等)
 - ・ ICTの積極的活用
- (2) 生徒指導の機能を生かした授業づくり
 - ・ 自己決定の場、自己存在感、共感の人間関係への配慮
 - ・ 学びの心構え・学習規律の徹底(豊かっ子「学習のやくそく」の活用)
- (3) 家庭と連携した家庭学習習慣の育成
 - ・ 家庭学習時間:学年×10分+10分の確保(「家庭学習スタンダード」の活用)
 - ・ 読書活動の充実(読書タイム、読み聞かせ、家読、学校司書との連携)

【重点指標】 ◆ 授業はわかりやすく楽しい(A+B 95%以上)

学びを支える環境づくり(家庭・地域・関係団体と連携し、ともに子ども達を育てます)

【家庭との連携】

- 家庭での生活習慣、学習習慣、家読の確立
- 家庭での「3つのあ(あいさつ・あんぜん・あとしまつ)」の実践
- 「オフ・スクリーン喜多っ子運動」「5つの約束」の実践
- PTA活動の活性化(保護者会、学習環境の整備、安全確保等)

【地域との連携】

- コミュニティスクール制度の活用(地域が学校を育て、学校が地域を創る理念の共有)
- 地域人材の活用(農業科、生活科、総合等) ○ 「豊川ながら見守り隊」の活動
- 学校評価の実施、結果公表と学校改善の推進
- 学校の情報発信(学校行事等の公開、教育ポータルサイト、学校だより等)

【幼・小・中・高との連携】

- 「オフ・スクリーン喜多っ子運動」の推進
- 幼小中連携による授業参観・生徒指導の取組
- 喜多方桐桜高校見学によるキャリア教育の実施
- 中学校区学校改善委員会・学校保健委員会の開催

I 自己啓発力の育成

- ◎ 人としてよりよく生きようとする意志や態度を身に付けた子ども

II 学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力の育成

- ◎ 知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を働かせ、主体的に解決出来る子ども

III 勤労観、職業観及び職能の基礎的資質・能力の育成

- ◎ 地域や社会の発展に貢献できる資質を身に付けた子ども

IV 共助・協働の態度及びコミュニケーション能力の育成

- ◎ 住みよい社会づくりのために、互いのよさを認め合い高め合う資質を身に付けた子ども